

8月30日

島田市総合防災訓練

地域防災の担い手を育てよう

☎危機管理課 36・7143



今年度の「島田市総合防災訓練」は、南海トラフ（駿河トラフ）を震源とする大規模地震が突然発生した想定で実施します。訓練の重点項目に「小中学生・高校生等将来の地域防災力の担い手による訓練」を加え、各自主防災会に子どもたちの力を活用した訓練の実施を呼び掛けています。

島田市総合防災訓練

- 本部会場型訓練
とき／8月30日(日)
地震発生／午前9時（同報無線によるサイレン吹鳴^{すいめい}）
会場／島田第一小学校
参加自主防災会／向谷町、稲荷町
訓練内容／声掛け避難支援訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練、搬送・救護訓練、救出救助訓練、負傷者搬送訓練（自衛隊車両による）、非常電源給電訓練、避難所開設運営訓練、小中学生防災標語コンクール、展示訓練
 - 自主防災会の訓練
各町内の訓練日時や内容は、自主防災会により異なります。地元自主防災会などからの通知を、ご確認ください。
 - 家庭でできる訓練の例
○ 家族間の安否確認方法と集合場所の確認
○ 災害時の行動の確認
○ 避難場所と、避難経路の確認
○ 7日分の水や食料、家族に必要な備蓄品の準備と確認
○ 「黄色い旗」の掲出
- 【声掛け避難支援訓練】
避難の際には、隣組で声掛けをして、確実に地区住民の安否確認をすることが大切です。そのため、子どもたちの力を借りて、近所の声掛けや要配慮者の避難支援を訓練の場で実践してみましよう。

▼もしあなたが、避難所を運営しなければならぬ立場になったとき、最初の段階で殺到する住民やさまざまな出来事に対応することができるとでしょうか…。

静岡県が開発した「HUG」は、避難所で起こるあらゆる出来事をどう対処するか模擬体験するゲームです。想定外の被災者や避難所が抱える問題などが見えてくるため、普段から準備しておきたいことを把握することができます。

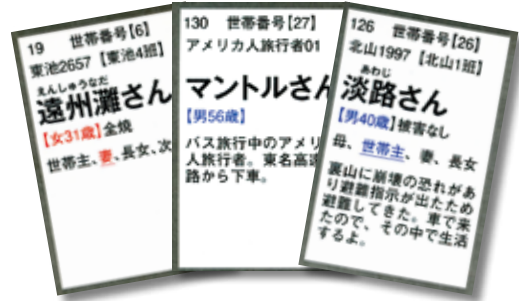
あなたの避難所でも、HUGを地域の避難計画などに生かしてみたいかがでしょうか。



対応を考える役員（井口公民館）

※避難所運営会議などでHUGを実施する場合は、危機管理課へお問い合わせください。
【HUGを実施してみよう】

「地域に即したシミュレーションを考えることができた」
「停車した新幹線の乗客や外国人などへの対応、ペット・トイレなどを考えることが山積みだった」
「各町内が、一つにまとまって運営しなければいけないと思った」
「メンバーが変わるので、HUGを毎年実施して生かしていきたい」



ゲームに登場する「被災者カード」

▼市では県と協力して、地震による建物の倒壊を防ぐため、昭和56年以前に建てられた建築物を対象に、耐震診断や耐震補強にかかる費用の一部を補助しています。

【木造住宅（在来工法）に対する補助】

ステップ1／**無料耐震診断**

市から派遣された相談士が訪問して、耐震診断を行い、現状の住宅が地震に対してどの程度の耐久力があるのか調査し、結果を報告します。電話での申し込みも随時受け付けています。

ステップ2／耐震補強計画策定

どこをどのように補強していくのかを検討しながら、耐震補強工事を行うための計画を作成します。

補助額／費用の3分の2以内、上限9万6000円



耐震診断



耐震補強工事

※高齢者世帯（65歳以上の人のみの世帯）の場合は、費用の上限14万4000円を補助します。

ステップ3／耐震補強工事実施

耐震補強計画を基にして、耐震補強工事を実施します。補助額／50万円（上限）

※高齢者世帯、または要支援者・要介護者・障害者が同居する世帯は、上限70万円を補助します。

【木造住宅以外（店舗・事務所など）に対する補助】

▼耐震診断に掛かる費用に対して補助します。補助額／費用の3分の2以内、上限50万円

【ブロック塀の撤去補助】

▼道路に面した高さ80cm以上のブロック塀の、撤去費用に対して補助します。補助額／10万円（上限）